

地域密着、
身近な話題を
体験取材!

まちかど

特派員だより

自転車の安全を推進する「ぐるサイククラブ」

皆さんは、例えば行田に行く時どんな交通手段を使いますか。もちろん私は電車です。今回は上尾から行田まで自転車で行ってしまおうくらい元気いっぱい、ぐるサイククラブの皆さんに話を聞いてきました。

ぐるサイククラブは、アプセック(※)会員の自転車好きな人が集まったサークルです。月に1回サイクリング活動をしています。1日に50キロも走るとするのが驚きです。他にも、上尾市と協働で「上尾近郊サイクルマップ」の作成も行いました。そのマップには上尾市近郊の歴史や自然を満喫できるコースが記載されていて、全部で15コースあり

ます。市内の自転車店に置いてあったり市のホームページに掲載されていたりするので、ぜひ手にして欲しいです。取材はサイクリング月例会の日に、当日は女性2人を含めた16人が集まっています。私はまずサイクリングをする上での上尾市の良いところは伺いました。「上尾市は坂道が少ないので走りやすい。サイクルマップに載っているコースは全ておすすめなので行ってほしい」と代表の田村耕一さんは語ります。次にサイクリングの魅力について伺いました。「近くに住んでいるのに知らない魅力的な場所はたくさんある。車じゃ通り過ぎてしまうが、自転車

は小回りが効くのでそのような場所を新しく発見できる」とメンバーの奥田昭さんは続けます。その他の人にもお話を聞いたのですが、皆さん一様に自転車を乗る時は安全第一だと語ります。「どんな時も歩行者優先でヘルメットをつけること」と皆さん笑顔で話してくれました。ぐるサイククラブは子どもの自転車指導や市内の自転車専用レーンを作るための交通量の調査なども行っているそうで、自転車の安全を推進していることが分かります。



代表の田村さん(左)と奥田さん



サイクリング前の集合写真
※撮影時のみマスクを外しています。

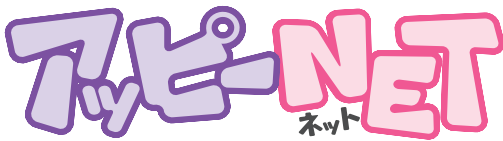
私も最近クロスバイクを購入したので、サイクルマップを持って市内を走ろうと思います。もちろんその時は安全第一を心掛けたいです。皆さんも自転車で上尾市の新たな魅力を探しに行ってみてはいかがでしょうか。

(※)企業や地域の活性化を図る目的で創設された企業OBの会



上尾地区
小林 美波さん

市民の情報交流スポット



広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873

おいでください

- スキーツイ 10月16日(土)17:00~18:00、プラザ22 ☎10月14日(木)までに ☎781-6139(20:00まで) **ひと言!** 老若男女を問わずスキーを楽しみましょう。経験者大歓迎。
- 合唱団コーロ・コルディアール演奏会 10月17日(日)14:00~、彩の国さいたま芸術劇場 定員500人 費1,500円 ☎726-4929 **ひと言!** 創立35周年混声合唱団の魅力をご存分にお楽しみください。
- 伝統文化上尾いけばなこども教室 10/23、11/27、12/18、令和4年1/22、2/26のいずれも(土)10:00~11:00(全5回)、谷津公民館 定員15人 費1回1,500円(花代含む)

アッピーNET掲載団体募集

アッピーNETは市民の皆さんの交流の場として、催しなどへの参加者募集「おいでください」と、各団体のサークル会員募集「いきいきサークル」を掲載しています。観客を増やしたい・会員数を増やしたい団体は気軽に申し込んでください。申し込み方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください。



いきいきサークル

- スパイスクラブ(インドカレー) 毎月第1回9:00~14:00、畔吉集会所 費月額1,500円(入会金500円) ☎岩崎090-7220-4861(20:00まで) **ひと言!** プロが懇切丁寧に指導。食の世界が広がります。
- AJフレンド 毎週(木)10:00~11:30、県立武道館など 費月額1,500円(入会金2,000円) ☎川島0772-8730 **ひと言!** 体にやさしいストレッチと呼吸を意識した気功体操。
- 中高年から始めるらくらくピアノ 毎月第2・4回9:00~15:40、春日記念会館 費月額2,500円 ☎坂口0777-3523 **ひと言!** 中高年対象のカナつき楽譜で「すぐ弾けた!」と大好評。
- こまくさクラブ(なぎなた) 毎週(土)12:30~15:00、今泉小学校 ☎9歳以上 費月額大人1,000円・子ども500円(入会金1,000円) ☎平田080-9396-4589(18:00~21:00) **ひと言!** 元気に充分な発声、背すじをのばして。

定…定員 ☎…対象 費…費用 持…持ち物 当日…当日、直接会場へ 申…申し込み

スポットライト

～人・仲間～



いちかわ とよこ
市川 富代子 さん
（上在住）



平成23年3月11日、大きな地震と津波により多くの尊い人命が失われた「東日本大震災」。「テレビから流れる津波の映像にショックを受け、居ても立ってもいられず、数え切れないほど東北の被災地に通いました」。そう話すのは、市の社会福祉協議会（以下、社協）に唯一登録されている災害ボランティア団体「ReVA復興ボランティアチーム上尾」（以下、ReVA）で代表を務める市川富代子さんです。

市川さんは、東日本大震災での活動をきっかけに平成24年1月にReVAを立ち上げ、時間と体が許す限り、全国各地の被災地に向き災害復興のボランティア活動を行ってきました。

その中でも記憶に残っているのは令和元年東日本台風と市川さんは話します。「いずれ起こりうる地元での災害に備えてReVAを結成しましたが、まさか本当に自分の住むまちが被災するとは思いませんでした」と当時の活動を振り返ります。自ら床下に潜り泥をかき出すだけでなく、被災者の声を行政や社協に届けたり、情報発信やボランティア希望者のコーディネートを行ったりしました。「行政や社協に加え、地域とつながることができたことは、災害時だけでなく、平時にも大きく役立つ」と市川さんは力強く語ります。今のコロナ禍において「県外で大きな災害が起きて、募集範囲の制限があり、今までのように

災害に備え、広げるつながりの輪

災害ボランティア団体「ReVA復興ボランティアチーム上尾」代表



令和元年東日本台風における平方地区でのボランティア活動

県をまたいだりでの活動もできなくなっている」とその影響を話し、「もし今、上尾市が被災したら地元の人や市民ボランティアだけで助け合わなければいけない場面も増えてくるのではないかと危機感を募らせます。そのため、普段の活動でも災害ボランティア養成講座の講師や各種訓練・研修への参加など、有事に備えた活動の他、市内障害者施設の草刈りや他団体との連携・協力を積極的に図るなど、平時からつながりを大切にしているそうです。今後の活動の中でも「地域やボランティア団体、企業とのさらなるつながりや、災害時に活動できるボランティアを育成していきたい」と話してくれました。

平時からの人と人との関わりがいざというときに力を発揮する。そのつながり役としても活動する市川さんの働きは、人々の心を突き動かす、さらにつながりの輪を広げていくことでしょう。

読者の声

「クイズ アッピーを探そう！」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は9月号です。

⇒ 広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873 ※内容は一部要約しています。



今月のイチ面 電子図書館サービス開始

- 大人になってからは図書館を利用することもなくなりましたが、これを機会に自宅で図書館を利用してみようと思います。(20代・男性)
- 外出する不安があるコロナ禍での、電子図書館サービスはありがたいです。(60代・女性)

利用しなくなった人やコロナ禍で利用できない人が、たくさん利用してくれるとうれしいです。



特集 上尾市ここがイチ押し! 上尾市の人口

- 日本の人口が減少しているのに、上尾市は人口が増加していることを初めて知りました。(50代・男性)
- 上尾に長く住んでいますが、知らないことが多く興味深く拝見しました。これからも上尾市の魅力的な情報の提供をお願いします。(60代・男性)

市民の皆さんに、上尾市をより好きになってもらえるような情報をこれからも発信していきます。お楽しみに。



『広報あげお』は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。